


C-3 プラホビー（プラ板工作）

概要	プラスチックシートに思い思いに絵を描くことの楽しさ加熱することによる材質の変化を楽しみながら、自分だけのキーホルダー等をつくる活動					
ねらい	自然に親しむ	仲間づくり・協調性	課題克服・達成感	 HP詳細へ		
			○			
	歴史文化に親しむ	知識	創意・工夫			
			○			
条件	場所	実習室、美術室、第5研修室		対象	小学生以上	
	時間	およそ1～2時間程度		人数	100名程度	
	時期	通年		天候	全天候実施可能	
	料金	プラ板（B4判）1枚170円、Gリング1個70円 ごみ袋（大）150円				
準備物	センターが貸し出しているもの			団体が準備するもの（共通）		
	<input type="checkbox"/> はさみ <input type="checkbox"/> オーブントースター <input type="checkbox"/> パンチ（一穴） <input type="checkbox"/> カッターマット <input type="checkbox"/> ピンセット <input type="checkbox"/> ラジオペンチ <input type="checkbox"/> こて			<input type="checkbox"/> 教材代（必要に応じて） <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> クッキングシート（またはアルミホイル） <input type="checkbox"/> マジックペン（油性） <input type="checkbox"/> ごみ袋		
展開	1 事前（当日までの準備） （1）プラ板の作り方、活動の流れを確認する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり） （2）材料、道具等の準備をする。（要事前注文） （3）研修生に下絵の準備をさせておく。					
	2 活動（当日の流れ） （1）用具の確認、作り方の手順について、諸注意（安全面）の説明 → センター職員が行うことができます。 （2）「プラホビー」の実施（基本的な流れ） ①プラ板に油性マジックで好きな絵や文字を描き、色を塗る。 ②はさみで、多少の余白を残しながら、絵の周りの不要な部分を切り取り、好きな形にする。 ③パンチを使って、金具を取りつけるための穴を開けておく。 → プラ板の端から5mm付近がちょうどよい。 ④クッキングシート（アルミホイルでも可）を敷いたオーブントースターの中に入れて加熱する。 ⑤プラ板の変化が収まり、平らになったら取り出す。 ⑥平らな台の上で、プラ板をこてで押さえ、形を整える。 ⑦Gリングを取り付ける。					
	3 事後（片付け） （1）不要なものや用具を片付け、活動場所を清掃する。 （2）用具の返却、終了の報告					
実施の留意点	○ 材料や用具等は、基本的に実施団体でご準備ください。上記、貸出物品については数に限りがありますので、ご相談ください。 ○ 刃物や発熱する用具を扱います。また、焼いてすぐのプラ板は大変熱いです。事前指導を行い、安全な実施をお願いします。 ○ プラ板は失敗することを考慮し、人数より多めに注文することをおすすめします。					

C-3 プラホビー（プラ板工作）資料



〈貸出物品〉

オーブントースター：5台
 こて：3つ
 はさみ：46本
 一つ穴パンチ：10個
 カッターマット：163枚
 ラジオペンチ：7つ
 ピンセット：11個
 ※貸出数には限りがございます。



プラホビー作品イメージ

